

令和3年度 上士幌町

まちの予算

令和3年度は予算総額100億6,303万円（前年度比8.9%減）

5,000人のまちづくりに向けて
人口減少対策と地方創生を積極的に推進

■コロナ対策とデジタル化に重点

■一般会計《歳出》

第5期総合計画における5,000人のまちづくりのための施策、および人口減少対策と地方創生のための「第Ⅱ期上士幌町人口ビジョン・総合戦略」で掲げた6つの目標、「地場産品で地域の活力を生み出すまち」「子育て・教育の充実したまち」「健康で安心して暮らせるまち」「移住定住による人口減少をくい止めるまち」「小さな拠点形成を目指すまち」「生涯活躍するまち」に関する施策を積極的に推進していくことを方針としています。また、コロナ禍やコロナ後における「新たな日

令和3年度の当初予算は、政策的経費を計上していない骨格予算となっております。政策的経費は5月議会に補正予算として提案予定ですが、一般会計と5特別会計の当初予算は、総額100億6,303万円、前年度予算との比較で8.9%（9億7,982万円）の減額となりました。このうち、一般会計は80億9,237万円、同11.8%（10億8,172万円）の減額となりました。

■一般会計《歳入》

主要な財源である地方交付税は、前年度予算との比較で4.4%増の30億3,965万円、町税は1.7%増の7億7,100万円を見込んでいます。基金からの繰り入れは35.1%減の6億6,723万円です。町債は68.9%減の5億8,778万円、過疎対策事業債3億9,750万円などとなっています。

■基金について

町が管理する基金残高は、令和2年度の決算見込みでは約77億5,759万円となっています。令和3年度は6億6,723万円を一般会計へ繰り入れ、ふるさと納税制度による指定寄付分として財政調整基金から2億2,584万円、ふるさと納税・子育て少子化対策基金から1億9,109万円、ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金から8,320万円を事業へ充当し活用します。

このほかに、基金と同様の取り扱いができるものとして、北海道市町村備荒資金組合超過納付金が約8億1,373万円あります。基金については、公共施設整備などの大型事業や地方債の償還金の財源を確保するため、適正に管理していく必要があります。

※北海道市町村備荒資金組合とは

道内全ての市町村で組織する一部事務組合で、災害に備えるための資金の積立て（普通納付金・超過納付金）および、その積立金の管理運用を行っています。運用益から必要経費を控除した残額は、構成市町村の積立金残高に応じて配分されます。令和元年度の配分率（利率）は、普通納付金が1.00%、超過納付金が0.33%となっています。

上士幌町長選挙

持続可能なまちづくりを～6期目の挑戦

竹中貢氏



3月14日(日)に執行予定でありました上士幌町長選挙は、立候補者が一人であったため、無投票により竹中貢氏が6期目の当選を果たしました。翌3月15日(月)、山村開発センターにおいて当選証書付与式が行われ、上士幌町選挙管理委員会・柏川秀明委員長より当選証書が手渡されました。

竹中氏は、「コロナ禍により生活様式が変化する中、町民の皆さまの暮らしを守り、産業の振興に的確な施策を行うことがこれまで以上に求められている。スローガンである「元気まち上士幌つなごう 子や孫へ」を、具体的な形で示していけるよう4年間しっかりとすすめていきたい。」と話されました。

【竹中貢町長の略歴】

昭和23年、羽幌町生まれ
昭和46年、上士幌町役場入庁
平成6年、社会教育課長
平成13年、上士幌町長就任

竹中町長の まちづくり10のテーマ

1. コロナ禍から町民の命と暮らしを守る施策を速やかに実施します。
2. 持続可能なまち開発目標(SDGs)の取組を深化させ「まちの価値」を高めます。
3. 農林業のさらなる成長で豊かな農村社会を目指します。
4. 商工観光の振興で賑わいと活力にあふれるまちを目指します。
5. だれもが健康で活躍する生涯活躍のまちを目指します。
6. 子育て・教育の充実したまちを目指します。
7. ユニバーサルデザインで優しい街中を目指します。
8. 災害に強いまちを目指します。
9. 効率的な行政運営と財政の健全化に努めます。
10. アフターコロナ 新しい時代の扉をひらく かみしほろ

令和3年度

主なお金の使いみち

お問い合わせは、企画財政課財政担当(☎2-4290)まで

※表中の「新」は、令和3年度から新たに実施する新規事業

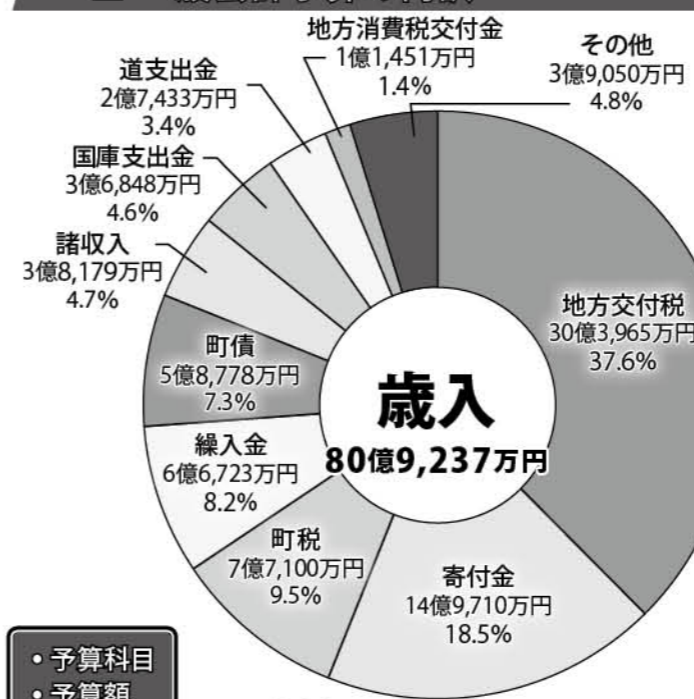
＊ 議会・行政・まちづくり

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	役場庁舎改修事業	308万円	役場庁舎等の耐震改修に向けた検討資料作成業務。
2		ふるさと納税推進事業	9億4,532万円	返礼品の充実、専用サイトなどのPRを行う。また、交流人口増加を図り、企業版ふるさと納税の取り組みを進める。
3		地域おこし協力隊推進経費	1,639万円	総務省事業を活用し都市部等から人材を求め、「社会教育」「生涯活躍のまち」「ICT」などの分野において、推進員を配置し活動する。
4		生涯活躍のまち 上土幌創生包括プロジェクト事業	6,866万円	健康で充実した生活を送ることができるよう、地域包括ケアや生涯活躍かみしほろ塾、人材センターの運営等、生涯活躍のまちを推進。
5		移住促進・二地域居住事業	3,089万円	移住定住促進のため、生活体験用住宅の整備や首都圏プロモーション活動、生活体験モニター、ふるさと納税寄付者との交流を実施。
6	新	Society5.0推進事業	5,000万円	MaaS等による生活快適性向上およびワーケーションパックの開発による地域経済活性化により、Society5.0の実現を目指す。
7		総合計画策定業務	577万円	第6期上土幌町総合計画策定に向けて、現状の調査分析から策定計画までを2か年で(2か年目)。
8	新	ICT推進プロジェクト事業	378万円	ローカル5G等の先進技術、およびスマートシティ先進自治体の視察により、庁内ICT推進プロジェクトの活性化を目指す。
9		エネルギー地産地消事業化モデル支援事業推進経費	1,571万円	再生可能エネルギー地産地消のまちづくりに向けた、コンソーシアム(共同事業体)の活動経費に係る負担金。
10	新	関係人口創出・拡大事業	367万円	町と都市部の企業・個人のマッチングと、ビジネススタートまでの側面支援を行う。
11	新	高齢者向け情報配信用端末配布実証事業	2,348万円	高齢者へタブレットを貸与し、高齢者向けサービスのICT化、高齢者ITリテラシー向上を目指す。
12	新	行政・町民コミュニティ強化事業	1,617万円	24時間365日自動応答するAIチャットボットを構築し、行政・町民間のコミュニケーション向上を図る。

＊ 建築・土木・上下水道

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		雪寒建設機械購入事業	7,108万円	除雪作業の効率化を図るため除雪車を購入。
2		定住促進賃貸住宅建設費助成事業	2,500万円	快適な住宅を確保し町内への定住と移住促進を図ることを目的として、賃貸住宅の建設費用の一部を助成。
3		定住住宅建設等促進奨励事業	290万円	快適な住宅を確保し町内への定住と移住促進を図るため、住宅の建設費用、リフォーム費用、法改修費用の一部を助成。
4		子育て住宅建設費等助成事業	2,500万円	子育てのため住宅を新築・購入する者に助成することにより、子育て支援と定住人口の増加、地域の活性化を図る。
5		水道施設整備事業	1,279万円	上土幌浄水場配水池弁類更新工事、西部地区塩素滅菌設備修繕工事。
6		水道管布設整備事業	3,413万円	東部地区管網整備工事593m、東部地区配水管更新工事200m。
7		道宮居辺水道施設更新事業	8,634万円	居辺水道施設の更新に係る、測量調査設計を実施。

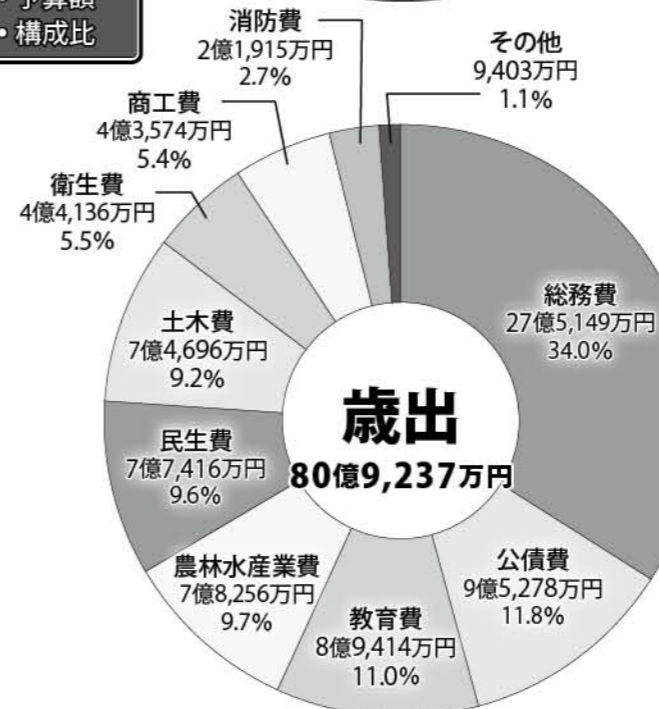
■ 一般会計予算の内訳



■ 主な歳入予算 (前年度予算との対比)

○ 地方交付税	30億3,965万円 (1億2,673万円増/4.4%増)
○ 寄付金	14億9,710万円 (2億9,710万円増/24.8%増)
○ 町税	7億7,100万円 (1,283万円増/1.7%増)
○ 繰入金	6億6,723万円 (3億6,035万円減/35.1%減)
○ 町債	5億8,778万円 (13億116万円減/68.9%減)

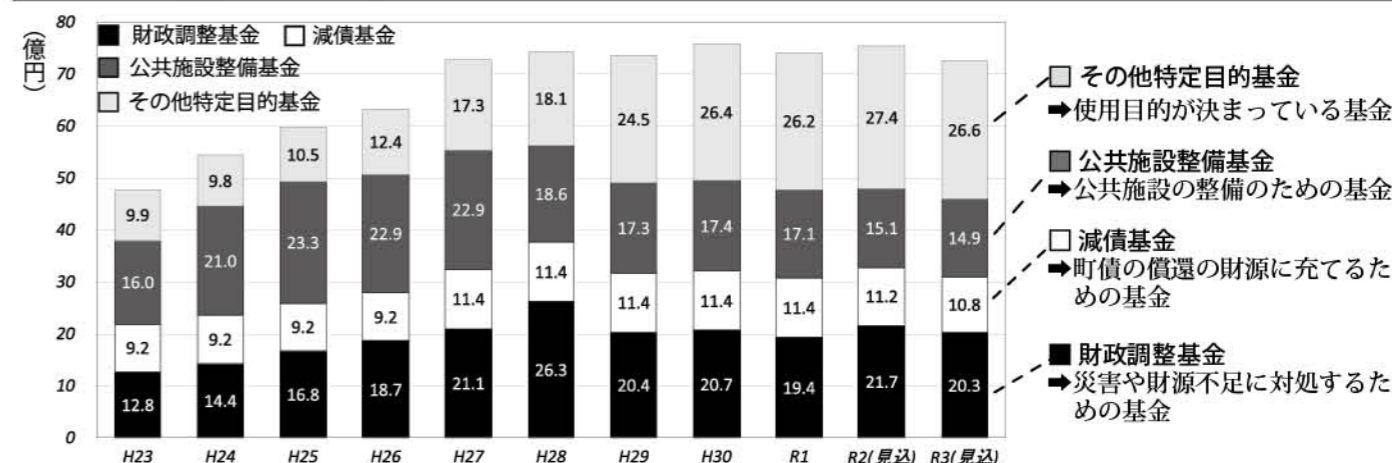
・ 予算科目
・ 予算額
・ 構成比



■ 主な歳出予算 (前年度予算との対比)

○ 総務費	27億5,149万円 (1億9,577万円増/7.7%増)
○ 公債費	9億5,278万円 (6,097万円増/6.8%増)
○ 教育費	8億9,414万円 (1,130万円増/1.3%増)
○ 農林水産業費	7億8,256万円 (1億7,526万円減/18.3%減)
○ 民生費	7億7,416万円 (388万円減/0.5%減)
○ 土木費	7億4,696万円 (1億2,933万円減/14.8%減)
○ 衛生費	4億4,136万円 (2,690万円増/6.5%増)
○ 商工費	4億3,574万円 (8,623万円減/16.5%減)
○ 消防費	2億1,915万円 (9億8,180万円減/81.8%減)

■ 一般会計基金現在高の推移



✿ 保健・医療・福祉・介護

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		老人クラブ活動育成推進経費	182万円	老人クラブ連合会への活動費補助金。
2		三愛介護サービス事業推進経費	1,743万円	要支援者に対して、自立への支援と生活の質の確保およびその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図るサービスを実施。
3		高齢者等福祉サービス助成事業	3,032万円	訪問介護や通所介護等の福祉サービスを提供する社会福祉法人への運営費補助。
4		災害時要援護者登録台帳等管理経費	160万円	地域福祉システムの運用保守経費。
5		高齢者等福祉バス運行事業	2,374万円	高齢者等の外出支援のため、市街地循環、農村部から市街地への巡回バスを運行。老人クラブ等の研修に係るバスの送迎も実施。
6		権利擁護センター運営事業	509万円	権利擁護センター(後見実施機関)を運営委託し、地域の権利擁護支援を推進。
7		高齢者等在宅介護支援事業	241万円	在宅で暮らす要介護者へ介護用品の支給や家族介護慰労金を支給し、在宅介護の支援を実施。
8		地域医療振興対策事業	1億4,834万円	安心して受診できる地域医療体制を維持するため、行政と町内医療機関の連携により一次医療圏としての機能の充実を図る。
9		帯広厚生病院財政支援事業	331万円	帯広厚生病院の不採算医療部門(救急救命センター等)の運営を支援し、三次医療圏の医療機能の確立を図る。
10	新	健診・予防接種情報入力自動化事業	264万円	健診受付票や予防接種予診票情報の入力作業自動化に係るシステムを導入し、事務の効率化を図る。
11	新	新型コロナウイルス感染予防対策経費	763万円	資機材備蓄品や一時滞在住宅生活支援に係る物品整備、医療関係等施設職員や入所者、無症状者へPCR検査費用を助成。
12		妊婦健康診査事業	649万円	妊娠中の健康診査費・交通費を助成し経済的負担を軽減。
13		健康診査経費	475万円	健康診査により疾病の早期発見や適切な治療につなげ、生活習慣を改善する機会を確保。
14		女性がん検診普及啓発キャンペーン事業	361万円	子宮がん・乳がんの好発年齢層に対する検診費用の無料化や女性がんに対する知識の普及啓発により、早期発見早期治療を図る。
15		40歳スタート・脳ドック検診事業	125万円	40歳の全町民に対し脳ドックおよびメタボ検診を無料化等により、生活習慣病の早期発見早期治療を図る。
16		後期高齢者健康診査経費	134万円	後期高齢者検診費用の助成とフレイル予防に関する個別指導や健康教育を実施し、生活習慣病等の重症化や介護状態を予防。
17		特定不妊治療費等助成事業	70万円	特定不妊治療や不育症治療に対する費用の助成を行い、経済的負担の軽減を図る。
18		介護予防・生活支援サービス事業	1,182万円	要支援者等へ介護予防・日常生活支援総合事業の提供により、在宅生活を支援。
19		地域リハビリテーション活動支援事業	87万円	リハビリテーション専門職(セラピスト)の居宅訪問や地域サロン等の住民活動の場において介護予防に関する技術的助言を実施。
20		介護予防普及啓発事業	188万円	高齢者自身による健康管理を促し、介護予防教室や高齢者体力・認知力測定会を実施。
21		成年後見制度利用支援事業	64万円	成年後見制度の申し立て支援や低所得者への後見報酬費用の助成。
22		認知症総合支援事業	91万円	認知症の早期支援に向けて、症状を悪化させず適切な支援に結び付ける認知症初期集中支援の実施。
23		生活支援体制整備事業	1,419万円	地域住民による互助の関係づくり等を進める生活支援コーディネーターの業務委託により、生活支援体制整備に取り組む。
24		在宅医療・介護連携推進事業	602万円	相談支援をはじめとする切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を推進する「医療・介護連携ステーション」を設置。

✿ 農業・林業

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		酪農ヘルパー組合助成事業	250万円	酪農ヘルパー事業に対する助成を行い、酪農業の近代化と定休型酪農経営体制の構築を支援。
2	新	バイオガスプラント管理運営事業	1,414万円	居辺地区集中バイオガスプラントの管理運営に係る経費。
3		家畜防疫対策事業	180万円	畜産現場における家畜伝染病の侵入を未然に防ぐため、牛舎消毒とワクチン接種に対する助成を行うことで、畜産経営の安定化を支援。
4		耕畜連携消化液利用促進事業	1,650万円	デントコーンの受委託栽培および町内で生産されるメタン発酵消化液の利用に助成することで、耕畜連携体制を強化。
5		ゲノム解析黒毛育種卵生産拡大事業	1,025万円	十勝ナイタイ和牛の増産に向け、ゲノム評価および受精卵移植を活用した優良繁殖雌牛の確保と素牛供給体制の強化に対する支援。
6		農業後継者対策推進経費	100万円	農業後継者の育成と確保に努めるため、農業後継者対策推進協議会に対する支援。
7		東部居辺地区道管農地整備事業	6,170万円	区画整理 127.2ha、農業集落環境管理施設(バイオガスプラント)1箇所
8	新	上士幌45号農道整備事業	5,450万円	農道改良舗装工事 L=180m
9		上士幌東4線農道整備事業	5,000万円	農道改良工事 L=280m
10		豊栄東1線農道整備事業	5,000万円	農道改良舗装工事 L=200m
11		双葉地区農道整備事業	3,250万円	農道改良舗装工事 L=518m
12		上士幌43号農道整備事業	5,000万円	農道改良舗装工事 L=250m
13		林産業振興対策事業	1,540万円	経営合理化及び担い手対策を推進し、林業・木材産業事業者の経営安定と林業労働者の雇用安定を図る。
14		森林環境譲与税基金積立金	1,432万円	国から譲与される森林環境譲与税を木材利用の促進や森林整備等に関する費用に充てるため、基金に積み立てる。
15		民有林造林促進事業	1,585万円	民有林において、森林の公益的機能の持続的な発揮のため、植栽・間伐等の適時適切な森林施業の実施に補助。
16		町有林整備事業	6,180万円	町有林整備を計画的に推進し、適切な森林の整備と保全に努める。
17		木育推進事業	40万円	森林の果たす公益的役割や森林整備の必要性への理解をはぐくむため、木育活動を実施。
18	新	林道橋梁点検診断事業	659万円	上士幌町林道施設長寿命化計画に基づき、オソウシナイ線林道他3路線5橋梁の点検診断調査委託業務を実施。

✿ 環境・衛生・労働

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		高齢者運転免許自主返納支援事業	6万円	運転免許証を自主返納した高齢者に対して運転経歴証明書申請手数料等を補助し、免許返納制度の利用促進を図る。
2	新	高齢者安全運転支援事業	125万円	高齢運転者による交通事故防止と被害軽減を目的として、高齢者がペダル踏み間違い加速抑制装置を整備する費用の一部を助成。
3		老朽施設解体撤去促進事業	600万円	地域の防犯対策・防災対策と住環境の維持向上のため、老朽施設の解体撤去費用の一部を助成。
4		無料職業紹介事業	312万円	求職者と町内事業所に職業紹介と人材あっせんを行い、産業振興、雇用成立、移住・定住の促進を図る。

ふるさと納税寄付金の使いみち

子育て 医療 農業 林業 教育 福祉

全88事業
総額 5億12万7千円
令和3年度も

幅広い分野に活用していきます

観光 商工 生涯活躍のまち

全国の皆さまから上士幌町へ「ふるさと納税」として寄せられたご寄付は、令和2年度は約10万件(3月10日現在)、金額にして17億円を超えるご厚志をいただきました。ご寄付により上士幌町を応援していただきました皆さまに、心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、上士幌町においても商工業や観光業等で大きな影響を受けておりますが、ふるさと納税制度を通じて消費が拡大し、地元企業や生産者による特産品開発が進むなど、新型コロナに負けないまちづくりを進めています。

上士幌町に寄せられたふるさと納税のご寄付がどのように活用されているのか、その内容についてお知らせいたします。

✳ 防犯・防災・消防

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	町内防犯カメラ整備事業	245万円	犯罪の抑止や事故防止を図るため、道の駅周辺T字路と交差点の2か所に防犯カメラを設置する。
2		災害対策経費	2,731万円	一斉情報配信システム戸別受信機経費、システム使用料等の災害対策に係る経費。

✳ 商工・観光

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		農林商工連携促進事業	504万円	地域資源の付加価値を高めた新たな商品・サービスの開発や販路の拡大、既存商品のブランド化を目指す取り組み等に補助。
2		商店街活性化対策事業	1,600万円	中元大売り出しや歳末大売り出し、新春大売り出し等、商店街の活性化を図る事業への支援。
3		北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,795万円	北海道バルーンフェスティバルの開催や、熱気球人材育成事業を行う組織委員会に対して補助。
4		DMO推進事業	2,493万円	観光地域づくり推進組織(DMO)のマーケティング調査や旅行商品開発調査などの取り組みを支援。
5		観光プロモーション事業	872万円	地域の魅力発掘、磨き上げやSDGsを意識した取り組み紹介など、地域全体のプロモーション活動を実施。
6		道の駅等経済波及効果推計事業	99万円	「ナイタイテラス」「道の駅」開業による経済波及効果推計を実施。

✳ 子育て支援・教育・文化

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		北海道上士幌高等学校振興会助成事業	5,000万円	生徒通学助成、入学準備金支給、学力向上対策等の取り組みを進める振興会へ助成し、上士幌高等学校の魅力化を推進。
2		まなびの広場開設事業	745万円	長期休業期間中の、大学生による自学自習のサポート等の実施により、探求的なまなびを身につけ家庭学習の定着を図る。
3		プログラミング教育推進事業	299万円	プログラミング教育に係る外部講師による授業研究および学習教材ロボットによりICT教育環境を整備。
4		特別支援教育支援員設置事業	1,525万円	上士幌小学校に、障がいのある児童に対する介助や学習支援等を行う特別支援教育支援員を配置。
5		小学校教育充実事業	4,626万円	学校教育推進支援教員、専科担当教諭、ICT推進担当教諭の配置や、大学との授業研究連携。
6		中学校教育充実事業	1,256万円	中学校教育の充実を図るため、特別支援教育担当教諭を配置。
7	新	教師用指導書及び教科書整備事業	237万円	中学校教科書の改訂に伴う教師用指導書、教師用教科書、指導者用デジタル教科書を整備。
8	新	スクールバス更新事業	2,571万円	町有スクールバスの老朽化に伴い、バスの更新。
9		異文化交流推進事業	1,180万円	認定こども園に外国語指導講師(ALT)、国際交流推進員を配置。
10		コミュニティスクール事業	861万円	学校運営協議会の活動を通して、コミュニティ・スクールを活用した地域とともにある学校づくりを推進。
11		かみしほろ学園推進事業	1,436万円	幼保小中高の一貫性の確立、課外活動の充実、体験活動の充実を進め、「上士幌町子ども教育ビジョン」の具現化を図る。
12		スポーツ教室及び講習会経費	193万円	町民の体位向上と健康増進を目指し、特に幼少期から運動に継続的に関わる機会を創出し、運動能力の向上を図る。
13		スキー普及対策事業	131万円	小中学生へのリフトシーズンパスポートの無料配布と、小学生対象のスキー教室の実施により、スキーの普及拡大と体力向上を図る。

❖ 保健・医療・福祉・介護

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	老人クラブ活動育成推進経費	182万円	136万円	—	46万円	老人クラブの活動に対する支援。
2	高齢者等福祉サービス助成事業	3,032万円	1,200万円	1,832万円	—	高齢者等の福祉サービス事業への助成。
3	障害者地域生活支援事業	1,359万円	700万円	58万円	601万円	障がい者への地域生活の支援。
4	障害福祉サービス助成事業	315万円	300万円	15万円	—	障害福祉サービス事業所運営補助。
5	地域医療振興対策事業	1億4,834万円	800万円	8,374万円	5,660万円	医療機関への支援や医師確保対策。
6	妊婦健康診査事業	649万円	618万円	—	31万円	妊娠中の健康診査経費、交通費の助成。
保健・医療・福祉・介護 計		6,599万円	※その他の未記載の事業を含みます			

❖ 農業・林業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	酪農ヘルパー組合助成事業	250万円	250万円	—	—	酪農業の労働力確保対策。
2	ゲノム解析黒毛育種卵生産拡大事業	1,025万円	700万円	75万円	250万円	十勝ナイタイ和牛の品質向上のため受精卵移植等に係る経費を助成。
3	農業後継者奨学資金等支給事業	66万円	66万円	—	—	農業後継者の確保対策。
4	農業後継者対策推進経費	100万円	100万円	—	—	農業後継者の確保対策。
5	有害鳥獣駆除経費	346万円	300万円	33万円	13万円	有害鳥獣による農作物等への被害対策。
6	林産業振興対策事業	1,540万円	900万円	150万円	490万円	経営合理化や担い手対策により、林業・木材産業を振興。
農業・林業 計		1億1,461万円	※その他の未記載の事業を含みます			

❖ 商工・観光

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	産業振興対策経費	2億5,497万円	360万円	5,149万円	1億9,988万円	新規創業等に対する支援等。
2	商店街等情報発信対策事業	110万円	110万円	—	—	無料Wi-Fi整備への助成。
3	観光協会助成経費	755万円	730万円	25万円	—	観光協会への支援。
4	観光施設維持管理経費	1,738万円	1,000万円	505万円	233万円	町内観光施設の維持管理。
5	北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,795万円	1,100万円	695万円	—	バルーンフェスティバルの開催、および人材育成。
6	ぬかびら源泉郷冬季観光客誘致事業	140万円	140万円	—	—	ぬかびら源泉郷への冬季観光客の誘致活動。
商工・観光 計		4,524万円	※その他の未記載の事業を含みます			

◆ 令和2年度のふるさと納税の寄付額(入金額ベース)

寄付別	令和3年3月10日現在		割合
	件数	金額	
一般寄付	59,933件	10億1,694万円	59.4%
指定寄付	40,878件	6億9,614万円	40.6%
合計	100,811件	17億1,308万円	100.0%

▼ 指定寄付の使い道別内訳

指定用途	令和3年3月10日現在		割合
	件数	金額	
子育て・教育	20,690件	3億4,892万円	50.1%
農林業	7,855件	1億4,071万円	20.2%
医療・福祉・介護	7,305件	1億2,290万円	17.7%
観光	4,354件	7,292万円	10.5%
商工業	673件	1,065万円	1.5%
自動運転バス導入促進	1件	4万円	0.0%

◆ ふるさと納税の主な活用事業 ※令和3年度事業への充当活用予定

❖ 子育て・教育 ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金活用事業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	高校世代までの子ども医療費助成拡大事業	280万円	280万円	—	—	子ども医療費の無料化を高校世代まで拡大。
2	バルーンスタンプ子育て支援カード事業	611万円	611万円	—	—	「子育て支援カード」を発行し、満点で5,000円分の商品券と交換。
3	子育て世代住宅建設支援事業	2,500万円	2,500万円	—	—	子育て世代の負担軽減と定住・移住促進のため、住宅購入費用を助成。
4	認定こども園保育料無料化事業	3,380万円	2,956万円	—	424万円	保護者の負担軽減のため、認定こども園保育料を完全無料化。
5	学校教育充実事業	5,882万円	5,882万円	—	—	小中学校における教育の充実を図るため、町費による教職員の配置。
6	スクールバス更新事業	2,571万円	2,196万円	—	375万円	町有スクールバスの老朽化に伴い、スクールバスの更新を行う。
7	かみしほろ学園推進事業	1,436万円	583万円	853万円	—	「上士幌町子ども教育ビジョン」の目指す子ども像の具現化・見える化を進める。
子育て・教育 計		1億9,109万円	※その他の未記載の事業を含みます			

❖ 健康・安心・いきがい・生涯活躍 ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金活用事業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	6,886万円	1,601万円	—	5,285万円	地域包括ケアの充実など、生涯活躍のまちを実現するための委託料。
2	三愛介護サービス事業推進経費	1,743万円	1,190万円	—	553万円	介護要支援者等に対する町独自の生活支援サービスを提供。
3	高齢者等福祉バス運行事業	2,374万円	2,374万円	—	—	高齢者や障がい者等の外出支援を目的とした循環バスの運行。
4	健康増進センター入浴料減免事業	578万円	578万円	—	—	70歳以上の町民が低料金で温泉を利用できるように支援。
5	生活支援体制整備事業	1,419万円	166万円	—	1,253万円	高齢者等への新たなサービスを構築するために生活支援コーディネーターを配置。
6	女性がん検診普及事業	361万円	361万円	—	—	女性がんや検診の正しい理解を広めるとともに、受診率の向上を図る。
健康・安心・いきがい・生涯活躍 計		8,320万円	※その他の未記載の事業を含みます			